

どんこ肝つみれ汁 復興グルメ初V

地元・相馬で大会

相馬市の市民ひろばで開かれた。約6500人が来場し、各地の自慢のB級グルメを堪能した。

今回は岩手、宮城、福島3県の10地域から16チームが出場。メカジキを使った「New めからイスバーガー」（気仙沼市・気仙沼復興商店街南町紫市場）や「シャケとイクラのさけかすうどん」（陸前高田市・高田

来場者の投票の結果、

地元相馬市の「No. D onco No. Som a」の「どんこ肝つみれ汁」が初優勝を果たした。共同代表の飯塚哲生さん（31）は「このメニューを全国区にしたい」と喜びを語った。

東日本大震災の被災地の仮設商店街などが創作料理を競う「第8回復興グルメF1大会」（実行委員会主催）が2日、

大隅つどいの丘商店街）、コウナゴを使った「小女子あんかけ焼きそば」（相馬市・相馬双葉漁協）などの出店が並んだ。

2位には、石巻市のおしかのれん街」の「牡蠣（かき）の、おい！おいスターだ〜」、3位には、宮城県南三陸町の「タプの木漁協直販所」の「南三陸ホタテ丸ごと1枚&タコのみれ団子汁」が入った。



スポンサー賞を獲得した石巻市雄勝町の「おがつ焼き御結び」